

令和5年度 職員相互評価(2学期) No. 1 (提出 13)

学校経営の改善

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 教育目標の具現化	1	教育目標を、学年・教科等の経営の中で具現化を図り、めざす子ども像・学校像の実現に努める。	3.2	3.1		○芸術家派遣プロジェクト事業でジミー入枝さんとザ・ダイヤモンドの皆さんの公演を通して音楽への興味・関心をもたせるとともに、音楽のすばらしさを感じることができた。 ○稲刈り、脱穀、餅つき体験、もち米を地域の方へ配付(5年)、レタスの収穫、販売(6年)等、農業体験を地域のコミュニティーと連携を取りながら実施できた。
2 活力ある学年・学級経営の充実	2	子どもの居場所づくりに努め、秩序と向上心を育む学級づくりを進める。	3.2	3.4		
3 教育課程の編成	3	学習指導要領を理解し、学校の特色を生かして編成、完全実施し、反省・評価・改善を図る。	3.1	3.4		
4 校務分掌の機能化	4	校務分掌の内容を把握し、建設的に推進する態勢を確立し、責任をもって遂行する。	3.2	3.3		

【知】 確かな学力の定着

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 学業指導の徹底～「立腰の教育」の推進～	5	「基本的な学習のしつけ」に基づく指導(聞く→聴く・立腰)	3.1	3.0		△ 机に出すものやチャイム着席など、基本的な学習のしつけが徹底されていないと感じる。 次 発表者は聴く人を見て、聴く人は発表者を見る、を徹底していきたい。
2 AL(主体的・対話的で深い学び)とUD(ユニバーサルデザイン)を踏まえた授業改善の工夫	6	授業の入り口(めあて)と出口(まとめ)の明確化	3.2	3.5		○ 「めあて」と「まとめ」を明確化することができた。 △ 振り返りの時間をあまりとれなかった。 次 必ず振り返りの時間を取り、大切にしていきたい。
	7	「何に注目させるのか」を明確にした授業	3.1	3.3		
	8	理由や根拠を明らかにする言語活動の重視	2.9	3.3		
	9	毎時間の「振り返り」による自己評価	2.7	2.8		
3 個に応じた指導の徹底	10	定着させるための時間の確保(授業の終末で、単元の終末で、土曜授業で)	3.1	3.3		
	11	個人レベルの実態把握と個別指導の徹底	3.3	3.1		
	12	web問題や過去問等の計画的活用(授業、学習等)	2.5	3.1		
4 家庭学習の習慣化	13	「家庭学習の手引き」に基づく自己学習力の育成と確実な評価(見届け)	2.9	3.3		次 学力向上強調週間の取組が意識されていない。中学校のテスト週間に合わせて、家庭学習強調週間を設定するなど、意識した取組ができればいいと思う。
5 特別支援教育の充実	14	「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」に基づいたきめ細やかな指導の展開	3.3	3.3		○ 巡回相談で指宿特別支援学校の宮脇先生を講師にお招きし、子供たちの実態からの確かなアドバイスをいただいた。今後も、その子に応じた支援ができるように全職員で共通理解を図りながら進めていきたい。 次 教育相談週間の学級の時間があるが、具体的にどのような活動をしているのか。学級に差がある。共通した取り組みができればいいと思う。
	15	計画的な教育相談と適切な就学指導の推進	2.9	3.4		
6 授業力のアップ～校内研修の充実～	16	研究テーマに基づく実践的研究の推進	3.2	3.3		○ 初任校研修では、多くの先生方のご指導をいただき、授業の充実を図ることができた。 次 アドバイスなどを振り返り、授業に生かしていきたい。 ○ 主体的・対話的で深い学びへとつなげる研修授業を下迫先生にさせていただき、研修を深めることができた。今後もどの教科でも対話活動を取入れた授業展開を工夫したい。
	17	授業設計力の向上(学習指導要領解説書、学びの羅針盤等の活用)	2.8	3.2		
	18	短期研修や校外研修等への積極的な参加	2.6	3.2		
7 GIGAスクール構想への取組	19	タブレット端末を活用した授業への積極的な取組	3.1	3.2		○ 下迫先生の授業研究を通して、学び合い・教え合い・振り返りの場面でタブレットの有効活用について考えることができた。

職員相互評価 No. 2

【徳】 豊かな心の育成

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 道徳教育の充実	20	価値を自分自身の問題として捉え、向き合う授業「考える道徳」「議論する道徳」の実践	2.9	3.5		○ 初任校研修でのアドバイスのもと、ワークシートを使って、実践することができた。
	21	「命の教育」の充実	3.0	3.5		○ 6年生の性に関する教室で、相原先生を講師に招き、命の誕生についての講話を親子で聞くことができた。実際に妊婦体験なども行うことで、母親の大変さを実感することができた。
2 人権同和教育の推進	22	「見つめる 思いをめぐらす 向き合う」意識	2.9	3.5		
	23	人権の日・校内人権週間等の取組の充実	3.1	3.4		○ できるの木として、児童の得意なことやできることが知れてよかった。 ○ 月一回の人権の日の学級の時間の活動内容は？
	24	年間を見通した計画的な研修(校内・校外)の推進	3.2	3.5		
3 積極的な生徒指導の展開	25	「見過ごさない 見逃さない 見放さない」意識	3.3	3.5		○ 学校生活アンケートに基づき、事例に引き合わせて解決策を図るように努めた。
	26	「学校生活アンケート」「学校楽しい」と等を活用した的確な実態把握	3.2	3.5		○ 学校生活アンケートを実施するなどいじめについて自分を振り返らすことができた。また、いじめを認知したらすぐに対応することに心掛けた。
	27	意図的・計画的な教育相談の推進(保護者との連携)	3.0	3.5		△ 友達を傷つける言動があり、登校を渋ることにつながることになってしまった。全体で共通理解を図りながら子供たちへの指導や保護者への対応を行った。その時に、その場で、その日のうちに解決することの大切さを感じた。
4 「今の姿」と「残り姿」の重視	28	最後の姿を整えることでの心の落ち着き	3.0	3.2		△ トイレのスリッパの乱れが出てきた。一部の児童が乱れたスリッパを揃えている。急いでいる時こそ…と指導を徹底したい。
	29	次に使う人や周りの事を考えた「後始末」	2.9	3.1		△ 帰りの会での黙想タイムを設けているが、目をつぶらない児童が数人おり、声掛けをしているがまだまだである。
5 係活動や委員会活動の重視	30	「時間いっぱい」の活動の展開	2.8	3.5		
	31	「丁寧な指導と確実な見届け」による自主性の育成	3.1	3.3		
6 体験活動の充実	32	「ねらい(何のために)」を明確にした体験活動等の展開	3.0	3.5		
7 読書指導の充実	33	読書意欲を高める取組の工夫(全体・個)	3.3	3.5		○ 係の先生の相違工夫で、本を手取る子どもが増えた。
	34	本に親しむ環境づくりの推進	3.5	3.4		

【体】 健康・安全の徹底

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1 生活リズムの確立	35	「早寝・早起き・朝ごはん」の定着	3.2	3.3		○ 夏休みのノーメディアチャレンジでの家族のふれあい(今回は「無人島チャレンジ」)に積極的に取り組まれた家庭が多かった。PTA研修部の取組として始まったが、今後も継続したい。
	36	メディアコントロールを重視した継続的な指導(生活リズムふりかえり週間等の活用)	3.0	3.3		△ むし歯治療は、現時点では昨年度の治療率を上回ったが、コロナ前の実態には届かない。引き続き、保護者への働きかけを続ける。 △ 「朝ご飯を食べていない」という声がよく聞かれた。
2 健康教育の促進	37	姿勢指導の徹底(立腰・・・背筋を伸ばす)意識づけ	3.0	3.5		△ 生活リズム振り返りシートの結果を、週報等にあまり載せることができなかった。 次 少しづつ載せて、生活習慣を整えるきっかけにする。
	38	歯磨きの励行と早めのむし歯治療	3.1	3.5		
	39	現代的健康課題(性・喫煙・飲酒・薬物)への対応	3.1	3.5		
3 学校体育の充実	40	しっかりと考え、汗をかく授業の展開(運動量の確保)	3.4	3.5		
	41	「目標の提示」「課題を解決する活動」「振り返る活動」の設定	3.3	3.4		
	42	体力向上に向けた取組(朝のかけ足・縄跳び・ちよとれ等)の推進	3.3	3.5		
4 学校給食・食育の充実	43	年間指導計画に基づいた給食指導の推進(当番活動 マナー バランス 食習慣 感謝等)	3.0	3.3		△ コロナ禍が過ぎ、給食時のマナーが少し緩み始めているような気がする。
	44	全体計画を踏まえた「食に関する指導」の推進(栄養教諭の活用 食に関する知識 食を選択する力等)	3.2	3.5		
5 学校安全の充実	45	全校体制による安全点検の実施とその迅速な対応	3.2	3.4		△ 11月は、トラブルによるけが(今のところは大きなけがはない)が他月より多かった。 △ 廊下歩行が良くない。走る・遊ぶ(おんぶやかくれんぼをする)姿が良く見られた。注意するが良くならない。
	46	定期的な通学路や危険箇所の見直し	3.3	3.4		△ 登校中に道路に4列に広がって歩いており、車の走行の妨げになり、「危ないから広がらない」と注意された。命にかかわることなので厳しく指導した。
	47	危険を予測し、回避する能力を育てる安全教育の推進	3.0	3.3		

職員相互評価 No. 3

【美】 学ぶ場のふさわしい教育環境の整備

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1	花いっぱい運動の展開	48	全校体制による計画的な花づくりの推進(学校・学級園、一人一鉢、水かけ等の管理)	3.3	3.4	○緑化係を中心に、いつも美しい学校 △そうじ時間に、窓を締め切った状態の時があり、その都度声をかけた。 次 朝の活動で落ち葉を自主的にはいている子供がいる。落ち葉がたくさん落ちる時期は、児童会で話し合っってボランティア活動を呼びかけ、みんなで取り組むことができればいいと思う。「よりよい学校のために」
2	掃除と整理整頓による環境整備の推進	49	師弟同行による掃除活動の充実(時間前移動→時間いっぱい→後始末)	3.4	3.4	
		50	学びの場にふさわしい教室や校庭、体育館等の環境整備(残り姿・整理整頓・施錠等)	3.1	3.3	
3	言語環境の工夫～掲示物の工夫～	51	「目標意識」や「相手意識」を持った設営	3.3	3.2	
		52	動きのある設営(常設するもの・変えていくもの)	3.1	3.5	

【信】 信頼と活気がある学校の創造

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1	不祥事を絶対に起こさないという意識	53	服務規律の遵守(他人事ではなく、自分のこととして常に振り返る意識)	3.5	3.5	
2	組織の一員としての自覚とモラル向上の意識	54	「あいさつ・声かけ」や「報告・連絡・相談」等を大事にしていく意識	3.6	3.6	
3	勤務時間を意識した働き方(業務改善)の推進と心身の健康の保持・増進	55	仕事の簡素化・効率化の推進(活動等の見直し:スクラップ&ビルド)	3.1	3.3	
		56	適正な勤務時間の確保[出退時刻記録システム](月～木:18:00退庁目標 金:17:30退庁)	2.8	3.1	
		57	心身の健康状態の把握と積極的な健康管理(年間10日間の年休取得目標)	3.1	3.2	

【学校事務】

4…とてもよい 3…よい 2…やや不十分 1…不十分

努力点	番号	具体的方策	1学期	2学期	3学期	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
1	情報管理	58	個人情報・データの適正な管理	3.5	3.5	
2	会計事務	59	会計事務の適正化、金品の管理	3.5	3.6	
3	業務改善	60	確実な事務処理と業務改善の取組	3.3	3.3	
4	施設・設備	61	備品や教材教具の保管・整理 施設・設備の安全管理	3.3	3.4	

領域	校務分掌から	○(成果) △(反省点) 次(次年度への課題)
各種委員会	校務分掌組織の各委員会 ○心の教育推進(生徒指導・いじめ防止対策)委員会 ○研究推進(学力向上)委員会 ○学校保健委員会 ○校内委員会(特別支援教育) ○教材選定委員会 ○スクールゾーン委員会 ○労働安全衛生推進委員会	
教科部	教科・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間 ○国語 ○社会 ○算数 ○理科 ○生活 ○音楽 ○図工 ○家庭 ○体育 ○外国語 ○総合的な学習の時間 ○道徳	体育…備品の充実と活用、学習過程に話し合い活動を取り入れる。
教務部	教務部 ○教務 ○研修 ○教育方法 ○広報渉外 ○創意活動 ○特別支援教育 ○人権同和教育	
生徒指導部	生徒指導部 ○生活指導 ○教育相談 ○読書指導 ○特別活動 ・学級活動 ・ボランティア活動 ・児童会活動 ・クラブ活動 ・青少年赤十字 ・学校行事	
保健指導部	保健指導部 ○保健指導 ○安全指導 ○体育指導 ○学校給食 ○環境衛生 ○防火防災	体育指導…朝の体力づくりの内容の見直し ○暑い中の運動会練習等、体育指導係を中心に各担任の配慮・指導により、熱中症による体調不良者もほぼ出なかった。
その他	その他	△ 放課後の会等急に決まることが多かったので、計画的に進めてほしい。 次 ペーパーレスを進める中で、それ以外(市職の先生方)への配慮を忘れがちになり気になった。お互い気を付けていきたい。 △ 喜入地区総合体育大会や文化祭、公民館祭り等、子供たちが地域の行事で活躍し、輝く姿に感動した。(先生方も)今後も地域との連携を大切にしていきたい。